

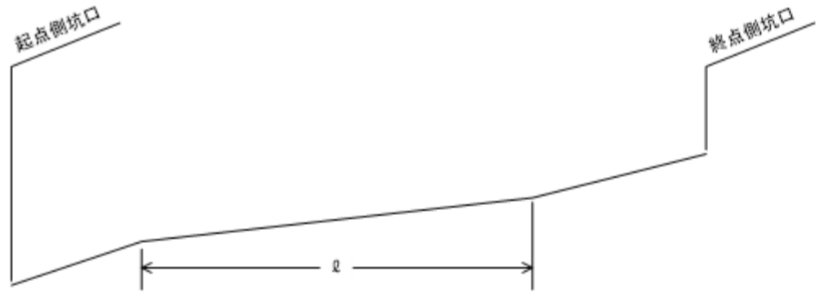
トンネル77条項目

NO	項目名	種別	桁数	備考
1	施設ID (緯度経度)	文字	18	<p>施設IDには、「緯度経度」を用いて表示することとする。 施設IDの位置は、緯度経度を0.01秒単位で取得し、十進緯度経度の小数第5位に丸め、表記は緯度(小数点を含む8桁)+緯度と経度を区分するカンマ(1桁)+経度(小数点を含む9桁)の18桁(半角)とし、精度は概ね1m程度とする。 他施設の施設IDと同じにならないように配慮する。 一度確定すると変更できないため注意すること。 「定期点検対象施設のID付与に関する参考資料(案)」(令和元年10月)をご確認ください。 (例)34.23456,137.12345</p> <p>3つのエラー条件をチェックしています</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設IDの空欄チェック 施設IDの形式チェック NG例:「abc,xyz」や「123.45678,90.123」など形式にそぐわないもの 経度と緯度の範囲チェック NG例:「46.0,154.0」や「19.0,121.0」など、指定された国外の座標
2	管理者コード	文字	6	<p>トンネル管理者のコード (例) 610000:NEXCO東日本 620000:NEXCO中日本 630000:NEXCO西日本 710000:首都高速道路 720000:阪神高速道路 730000:本州四国高速道路</p> <p>2つのエラー条件をチェックしています</p> <ol style="list-style-type: none"> 管理者コードの空欄チェック 管理者コードの存在チェック 誤っている管理者コード以外は受け付けません。
3	施設名	文字	50	<p>トンネルの正式名称</p> <p>1つのエラー条件をチェックしています</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設名の空欄チェック
4	施設名_フリガナ	カタカナ	60	<p>施設名のフリガナ(半角カナ)を記入する。 ※数字も半角カナとし、フリガナの前には必ず半角カッコを入れる。 (例) △隧道の場合: (サンカス[△]イトリ) ○トンネル(上り)の場合: (マルトンネル[○]ノホリ) □1号トンネルの場合: (シカクイチゴ[□]トンネル)</p> <p>3つのエラー条件をチェックしています</p> <ol style="list-style-type: none"> フリガナの空欄チェック 半角カッコの存在チェック フリガナが文頭と文末に半角のカッコ(())で囲まれているかどうかをチェックします。 NG例:シカクイチゴウトンネル 半角カタカナのチェック フリガナが半角カタカナであるかどうかをチェックします。 NG例:(シカクイチゴウトンネル) NG例:(シカク1ゴウトンネル)
5	路線名	文字	100	<p>トンネルが所属する路線名を以下の例に従い記入する。 ※路線番号を記入する際は、必ず半角数字とする。 ※移管された施設は、移管元の路線名となっている為、移管先の路線名に修正すること。 (例) 高速自動車国道のうち新直轄方式の場合: ●●自動車道 ●●線 ※高速自動車国道法上の路線名とする。 一般国道の自動車専用道路、高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路、地域高規格道路の場合: 国道●号(●●道路) ※一般国道という表記はしない。 上記以外の国道の場合: 国道●号 都道府県道の場合: 府道●●、県道●● ※一般県道、主要地方道という表記はしない。 市町村道の場合: 市道●●、町道●●</p> <p>3つのエラー条件をチェックしています</p> <ol style="list-style-type: none"> 特定の語句の除外チェック 路線名に「一般国道」「主要地方道」「一般県道」が含まれているかどうかをチェックします。 これらの語句が含まれている場合、エラーです。 NG例:「一般国道123号」、「主要地方道456号」など 数字の形式チェック 路線名に含まれる数字が全角の場合エラーです。 NG例:国道123号 路線名の形式チェック 路線名が半角数字のみで構成されている場合エラーです。 NG例:123 NG例:456
6	道路種別	整数	1	<p>1:高速自動車国道 2:一般国道(指定区間) 3:一般国道(指定区間外) 4:都道府県道 5:市町村道</p>
7	建設年度_西暦	整数	4	トンネルを建設した年度の西暦表記 (例)1980
8	供用年度_西暦	整数	4	トンネルを供用した年度の西暦表記 (例)1980

トンネル77条項目

NO	項目名	種別	桁数	備考
9	延長(m)	小数	10, 3	トンネルの起点から終点の距離 小数点以下まで分かる場合は、小数点以下第4位を四捨五入して第3位まで記入。 (例)8765.432
10	幅員(m)	小数	6, 3	車道幅と歩道幅を含めた幅員 (車道幅+歩道幅) 小数点以下まで分かる場合は、小数点以下第4位を四捨五入して第3位まで記入。 (例)12.346
11	トンネルの分類	整数	1	トンネルの分類を陸上か水底のいずれかを設定 1:陸上 2:水底
12	トンネルの施工法	整数	1	1:山岳 (矢板) 2:山岳 (NATM) 3:シールド 4:埋設 5:開削 9:その他
13	道路管理者_区分	整数	1	1:国 2:都道府県 3:道路公社 4:政令市 5:市区町村 6:高速道路会社
14	道路管理者_名称	文字	30	道路管理者の名称 直轄の場合:「〇〇地方整備局」または「北海道開発局」または「沖縄総合事務局」 高速道路会社の場合:〇〇高速道路株式会社の「〇〇」の部分のみ 地公体の場合:全国地方公共団体コードの名称。道路公社は「〇〇県道路公社」など 1つのエラー条件をチェックしています 1. 道路管理者_名称の空欄チェック
15	道路管理者_管理事務所名	文字	100	道路管理者の事務所名 直轄の場合:ログインユーザーの管理事務所名(「〇〇国道事務所」または「〇〇開発建設部」) 高速道路会社の場合:管理事務所等の名称を記入 地公体の場合:任意入力 1つのエラー条件をチェックしています 1. 道路管理者_区分が「1:国」の場合のみ「道路管理者_管理事務所名」の空欄チェック
16	行政区画_都道府県名	文字	2	起点の都道府県コード 当該道路トンネルの施設起点位置における行政区画の都道府県コード。 ※「都道府県」シートを参照のこと (例)北海道:01
17	行政区画_市区町村名	文字	6	起点の市区町村コード 当該道路トンネルの施設起点位置における行政区画の市区町村コード。 ※「市区町村」シートを参照のこと (例)函館市:012025
18	起点側位置_緯度	小数	8, 5	起点の緯度 ※10進表記 (例)34.23456
19	起点側位置_経度	小数	8, 5	起点の経度 ※10進表記 (例)137.12345
20	距離標(KP)	文字	20	距離標(キロポスト)が設置されている路線については、当該道路トンネルの起点側位置の距離標を半角数字で記入。 (例)12.3kp+45mの場合:12.345 距離標(キロポスト)が設置されていない場合は「無し」と記入。
21	上り・下り線	整数	1	1:上下線 2:上り線 3:下り線
22	緊急輸送道路	整数	1	1:一次 2:二次 3:三次 4:市町村指定 5:指定無し
23	代替路の有無	整数	1	代替路があるかどうか 1:有り 0:無し ※判断基準として、当該道路トンネルが通行止めとなった場合に孤立集落が発生する場合は、代替路は無しとする。
24	通行規制	整数	1	1:全面通行止 2:車両通行止め(歩行者通行可) 3:車両通行制限あり(歩行者通行可) 4:上記以外の規制あり 5:規制なし
25	規制要因	整数	1	1:劣化損傷 2:災害 9:その他
26	点検記録_実施年度	整数	4	点検を実施した年度を西暦表記 (例)2023 1つのエラー条件をチェックしています 1. 日付範囲チェック 0から9999以外の数値はエラー
27	点検記録_点検実施年月日	整数	8	点検を実施した年月日 (例)2023年9月8日 2つのエラー条件をチェックしています 1. 日付フォーマットチェック yyyy年mm月dd形式で入力されていないとエラー NG例:「20240131」、「31/01/2024」など 2. 日付範囲チェック 01年01月01日から9999年12月31日以外の日付はエラー
28	点検記録_調査実施年月日	整数	8	調査を実施した年月日 (例)2023年9月8日 2つのエラー条件をチェックしています 1. 日付フォーマットチェック yyyy年mm月dd形式で入力されていないとエラー NG例:「20240131」、「31/01/2024」など 2. 日付範囲チェック 01年01月01日から9999年12月31日以外の日付はエラー

トンネル77条項目

NO	項目名	種別	桁数	備考										
29	点検記録_トンネル毎の判定区分	整数	1	1: I 2: II 3: III 4: IV 表-5.1 判定区分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 健全</td> <td>道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。</td> </tr> <tr> <td>II 予防保全段階</td> <td>道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。</td> </tr> <tr> <td>III 早期措置段階</td> <td>道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。</td> </tr> <tr> <td>IV 緊急措置段階</td> <td>道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。</td> </tr> </tbody> </table> 道路トンネル定期点検要領H31_2. pdf 参考	区分	定義	I 健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。	II 予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	III 早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	IV 緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。
区分	定義													
I 健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。													
II 予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。													
III 早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。													
IV 緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。													
30	点検記録_○の箇所数 (応急措置後)	整数	5	附属物取付の○の数 応急処置後 道路トンネル定期点検要領H31_2. pdf 参照 付表-2 附属物等の取付状態に対する異常判定区分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>異常判定区分</th> <th>異常判定の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>×</td> <td>附属物等の取付状態に異常がある場合</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>附属物等の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合</td> </tr> </tbody> </table> 1つのエラー条件をチェックしています 1. 数値範囲チェック 0から8388607以外の数値はエラー	異常判定区分	異常判定の内容	×	附属物等の取付状態に異常がある場合	○	附属物等の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合				
異常判定区分	異常判定の内容													
×	附属物等の取付状態に異常がある場合													
○	附属物等の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合													
31	点検記録_×の箇所数	整数	5	附属物取付の×の数 道路トンネル定期点検要領H31_2. pdf 参照 付表-2 附属物等の取付状態に対する異常判定区分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>異常判定区分</th> <th>異常判定の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>×</td> <td>附属物等の取付状態に異常がある場合</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>附属物等の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合</td> </tr> </tbody> </table> 1つのエラー条件をチェックしています 1. 数値範囲チェック 0から8388607以外の数値はエラー	異常判定区分	異常判定の内容	×	附属物等の取付状態に異常がある場合	○	附属物等の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合				
異常判定区分	異常判定の内容													
×	附属物等の取付状態に異常がある場合													
○	附属物等の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合													
32	過去の点検表記録様式ファイル名	文字	5000	点検記録様式のファイル名 ※複数の場合はカンマ区切りで記入										
33	所見等(任意)	文字	1300	点検の所見を任意で入力										
34	点検・修繕_備考	文字	200	点検修繕における備考を入力										
35	非常用施設ユニークID	文字	10	非常用設備に付加しているIDを記載 (例)8765										
36	線形_縦断勾配(%)	小数	7,3	トンネルの最長区間(ℓ)の縦断勾配(%)を半角数字で入力。 小数点以下まで分かる場合は、小数点以下第4位を四捨五入して第3位まで記入。 (例)2.951 (例)-0.486 ※地公体の場合は任意入力。 ※最長区間(ℓ)の縦断勾配は、右記のとおり取り扱う。 										
37	交通量_計画(台/日)	整数	7	1日の交通量の計画台数 (例)6000										
38	交通量_現況(台/日)	整数	7	1日の交通量の現況台数 (例)5678										
39	大型車混入率(%)	小数	7,3	下記に示すように全車交通量に対する大型車(バス、普通貨物車)交通量の割合を百分率で表す。 (例)12.3 $\text{大型車混入率} = \frac{\text{大型車交通量}}{\text{全車交通量}} \times 100 (\%)$										
40	トンネル等級	整数	1	1: AA 2: A 3: B 4: C 5: D										
41	道路の基礎情報_①高規格道路の確認	整数	1	1: 高規格幹線道路 2: 地域高規格道路 3: 上記以外の道路										
42	道路の基礎情報_②自動車専用道路の確認	整数	1	1: 自動車専用道路 2: 自動車専用道路以外の道路										
43	道路の基礎情報_③設計速度(km/h)	整数	3	設計速度 (例)60 1つのエラー条件をチェックしています 1. 数値範囲チェック 0から999以外の数値はエラー										
44	道路の基礎情報_④規制速度(km/h)	整数	3	規制速度 (例)40 1つのエラー条件をチェックしています 1. 数値範囲チェック 0から999以外の数値はエラー										
45	通報設備_通話型通報設備	整数	1	0:無し 1:有り										
46	通報設備_操作型通報設備	整数	1	0:無し 1:有り										
47	通報設備_自動通報設備	整数	1	0:無し 1:有り										
48	警報設備_警報表示版	整数	1	0:無し 1:有り										
49	警報設備_点滅灯(警告灯)	整数	1	0:無し 1:有り										
50	警報設備_音信号発生器	整数	1	0:無し 1:有り										

トンネル77条項目

NO	項目名	種別	桁数	備考
51	消火設備_消火器	整数	1	0:無し 1:有り
52	消火設備_消火栓設備	整数	1	0:無し 1:有り
53	避難誘導設備_誘導表示設備	整数	1	0:無し 1:有り
54	避難誘導設備_避難情報提供設備	整数	1	0:無し 1:有り
55	避難誘導設備_排煙設備	整数	1	0:無し 1:有り
56	避難誘導設備_避難通路	整数	1	0:無し 1:有り
57	避難誘導設備_避難連絡坑の設置本数	整数	3	避難連絡坑の設置本数 (例)22 1つのエラー条件をチェックしています 1. 数値範囲チェック 0から999以外の数値はエラー
58	その他の設備_給水栓設備	整数	1	0:無し 1:有り
59	その他の設備_無線通信補助設備	整数	1	0:無し 1:有り
60	その他の設備_水噴霧設備	整数	1	0:無し 1:有り
61	その他の設備_監視装置	整数	1	0:無し 1:有り
62	その他の設備_非常用電源設備	整数	1	0:無し 1:有り
63	トンネルID			トンネルに設定しているID (例)44° 33' 22" -144° 55' 33"

更新履歴

2024/01/11 種別・桁数を追加。備考欄にエラー理由を追記。